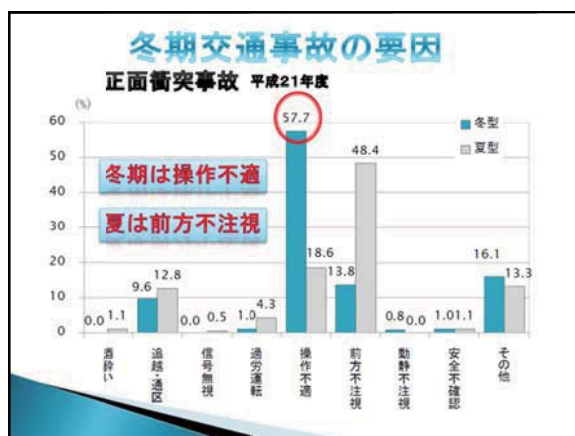
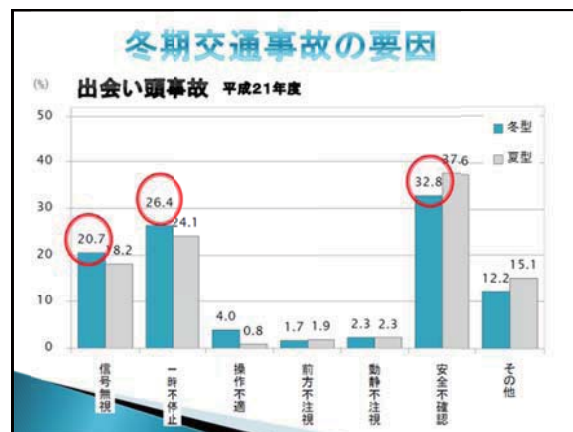


年の3月までの冬型事故の発生状況を示しております。こっちが発生件数、人身事故の発生件数、11月、3月は非常に低い。事故の発生件数は少ない。1月、2月は事故の発生件数が非常に多いんですね。ただし、死者数を見ると、1月はこの5カ月間で一番少ないということですね。特に、11月、初冬期、それと2月、3月、融雪期、雪が解ける時期ですね、この時期は重大事故の発生の可能性が非常に高いということが言えると思います。



次は、致死率の非常に高い正面衝突事故について、夏期と冬期をその原因について比較しております。冬期は、57.7%、これはハンドル・ブレーキ操作不適によるものが非常に高いんですね。夏はそうでもないですね、18.6%。ただし、夏に一番多いのは、前方不注意による正面衝突が多いという実態になっております。

夏期の正面衝突については、これまでの分析の結果から、居眠りもしくは覚低走行など、居眠りなどの原因によるものが多いと見られております。覚低走行という言葉は余り耳慣れない言葉でわからない方がいると思うのですが、お手元に居眠り運転防止のリーフレット、3つ折りのものを入れております。その中にこの覚低走行



について書いておりますので、後でござらんください。

また、この正面衝突につきましては、この後、萩原先生からもお話がありますので、どうぞ参考にさせていただければと思います。

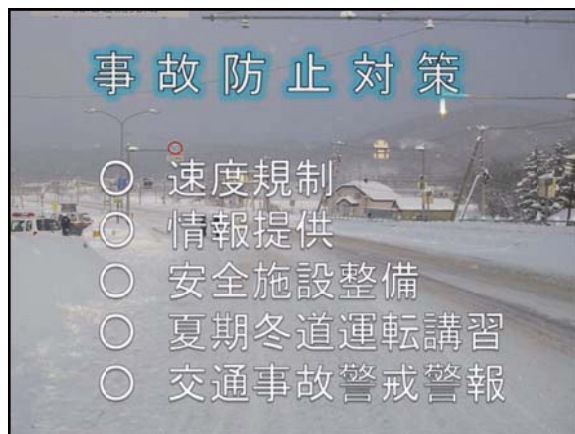
次に、出会い頭事故。冬期も夏期も多いのは、この安全不確認によるものですね。冬期は夏よりも一時不停止、それと信号無視、この2つの違反が多くなっております。これは、信号の手前や一時停止の標識があって、その手前で止まろうとしても、止まり切れずに交差点に入った結果、事故になったというものも含まれております。冬期は、ブレーキの過信には要注意ということでございます。

冬期交通事故の特徴

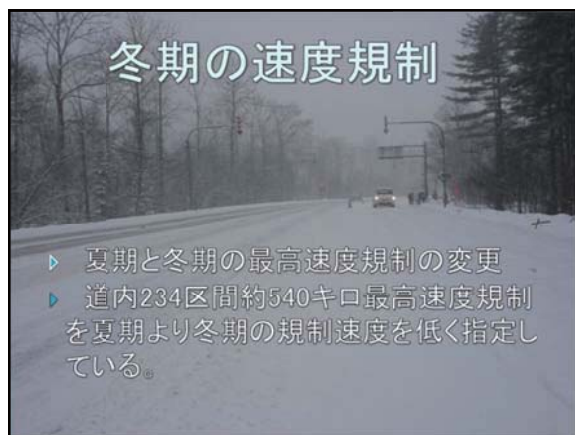
- 冬期は、人身交通事故の発生件数は夏期に比較して、増加するが、交通事故による犠牲者は夏期に比較して少ない。
- 冬期の事故原因は、ハンドル、ブレーキ操作不適によるものが多い。

冬期の事故の特徴をまとめますと、冬期は人身交通事故の発生は夏に比べて増加。ただし、交通事故による犠牲者は、夏に比

較して少なくなっていますよと。冬期の事故の原因については、ハンドル・ブレーキ操作不適によるものが多いということです。特にブレーキですね、ブレーキの方が多いです。特に、それと融雪期と初冬期、この時期には重大事故が発生しますということです。現在、本当に初冬期に入っております。十分注意していただければと思います。

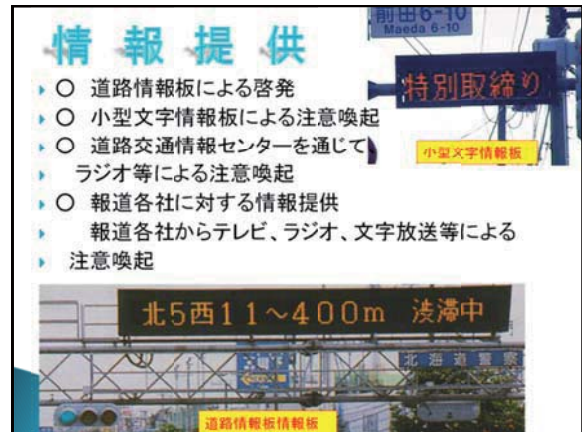


次に、事故防止対策。道警察だけではないのですけれども、今進めている対策について若干説明させていただきます。

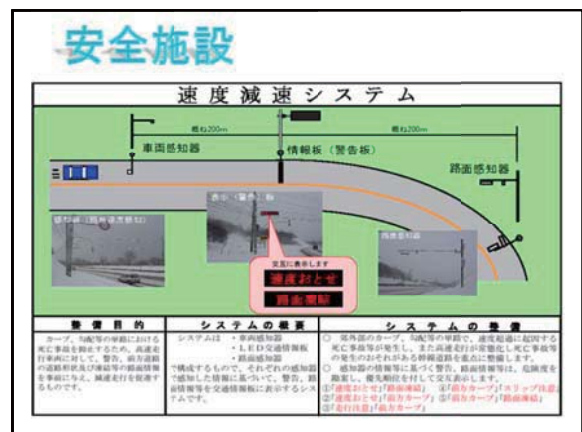


初めに、冬の速度規制。北海道の道路234区間、540キロで、夏よりも最高速度を低く設定して規制しております。それと、高速道路につきましては、天候の悪化、路面状況から、速度をぐっと下げて規制をしているという状況であります。特に高速道路の

場合は多重事故の可能性も非常に高いということで、それでも事故が発生する可能性がある場合は、道路管理者との協議によって通行止めの措置を素早く取っているところがございます。

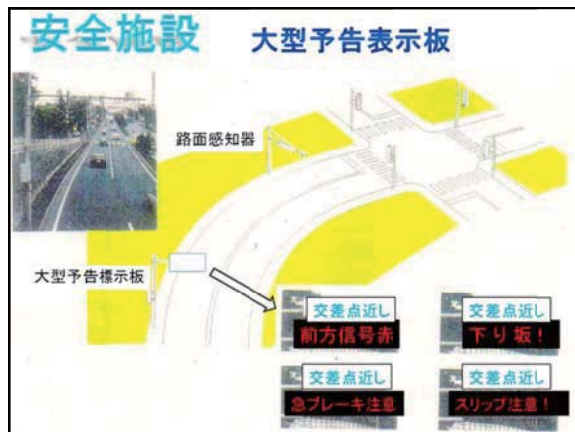


次に、情報提供ですね。道路情報板、それと小型文字情報板。これは道路情報板、これが信号についている小型文字情報板等、こういうものによりまして、天候の悪化、路面状況等をドライバーに素早く伝えるというところがございます。併せまして、道路交通情報センターを通じて、ラジオによる注意喚起と報道関係機関にお願いして、広くドライバーに注意を呼びかけているところがございます。



次に、安全施設です。速度減速システム。これは郊外部、特にカーブですけれども、カーブがある郊外部、特に下り坂のカーブ

などで、路面凍結によって交通事故の発生が予想されるような場所については、路面感知器によって、路面が凍結した場合に、ここのセンサーを通った車に対して「速度を落とせ、路面凍結」ということでドライバーに注意を促しているところがございます。



それともう一つ、大型予告表示板。これは、カーブの先に信号交差点があるような場合、このカーブをスピードを出し過ぎて来た場合に、この信号が赤で止まれなくなってしまうと困るということで、この路面感知器によって、凍結している場合には、この表示板によって、「信号が赤」だとか「下り坂スリップ注意」、こういうような表示をして注意を促しているところがございます。



それと、もう終わってしまったのですけ



れども、夏期冬道安全運転講習というものをやっております。講習期間が今年は5月11日から10月29日までの間、やっている場所は、道内の6カ所の運転免許試験場、これは轍で運転しているところですが、6カ所で講習をやっております。



講習の内容は、座学を20分やった後に、急ブレーキ、それとこういうような斜めの道路の走行、轍走行、これは直線とカーブ、それとスラロームなどの講習を体験することができます。これは、道路路面状況が本当に圧雪状態とほとんど同じぐらいの道路状況で体験することができるということで、北海道で初めて運転するとか、免許を取って間がなくて、冬に運転したことがないという方は、特にこういう講習を受けていただければと思います。

次は、交通事故警戒警報というものでご